

FL-UX導入で進化する戦略と、目指す全国の舞台

米沢鶴城高等学校 ホッケー部 様

山形県米沢市に位置する米沢鶴城高校ホッケー部。創部から数々の輝かしい実績を誇る伝統校が、映像分析ツール「FL-UX」を導入し、新たな戦略とチームの成長を加速させています。今回は、同部を率いる米沢鶴城高校 小池 桜先生に、FL-UX導入の背景、導入後の変化、そして今後の展望について、じっくりとお話を伺いました。

課題

- 映像確認にタイムラグがあり、迅速な分析が難しい
- 従来の分析方法では選手個々の動きや戦略の深掘りが不十分
- 操作が難しいソフトでは継続的な活用が困難
- 選手の課題発見・改善への主体性が育ちにくい
- スカウティングやコーチングの効率が低い

導入の背景

タイムラグの解消と、深掘りした分析への渴望

FL-UX導入以前から、試合映像の重要性は認識していたという小池先生。しかし、従来の分析方法には限界を感じていました。

「ビデオカメラで撮影した映像を小さな画面で確認する程度だったので、遠征先での迅速な確認が難しかったです。それに、選手個々の細かい動きや、チーム全体の戦略を深掘りして分析したいという思いがありました。」と小池先生は語ります。そんな中、小池先生はFL-UXに出会います。

「他の部活の先生から、FL-UXのチラシを見せてもらったのがきっかけでした。これなら、映像確認のタイムラグを解消し、より詳細な分析ができるのではないかと思い、すぐに詳しい話を聞きに行きました。」



片倉さん

小池 桜先生

効果

- FL-UXの導入で試合映像をすぐに確認できる環境を整備
- 直感的な操作と多機能性で誰でも使いやすく、分析の幅が拡大
- 選手自身が映像を見て課題に気づき、自主的に改善に取り組むように変化
- 対戦相手の分析や戦略立案がより効果的に
- 分析結果をコーチングに活用し、チーム全体のレベルアップを促進

FL-UX導入の決め手

直感的な操作性と、機能性

FL-UX導入にあたり、小池先生が重視したのは、操作性と機能性でした。

「以前にも映像分析ソフトを利用していたことがあったのですが、操作が複雑で、使いこなすのが難しかったです。FL-UXは、直感的に操作できるインターフェースで、多機能でありながら、誰でも簡単に使える点が魅力でした。」

また、FL-UXの多機能性も、小池先生の心を掴みました。

「FL-UXには、試合映像の分析だけでなく、選手の動きをトラッキングしたり、戦略をシミュレーションしたり、様々な機能が搭載されています。これらを活用することで、チームのレベルアップに繋がられると確信しました。」

導入後の変化

選手たちの意識改革と、戦略の進化

FL-UX導入後、米沢鶴城高校ホッケー部には大きな変化が生まれました。まず、選手たちの意識が変わりました。FL-UXを使って自分のプレーを客観的に分析することで、課題に気づき、自ら改善に取り組む姿勢が育まれたのです。

「以前は、コーチに言われたことをそのままやっていた選手た

ちが、FL-UXを使って自分のプレーを見直すようになり、練習にも自主性が出てきました」と小池先生は語ります。

さらに、FL-UXはチームの戦略にも大きな影響を与えました。「対戦相手の戦略を分析することで、その弱点を見抜き、より効果的な戦術を立てられるようになりました。また、自分たちのプレーを振り返ることで、チームの課題を明確にし、改善に取り組むことができます。」

部員の片倉さんも「見る機会が増えて、プレー中には気づかなかったことに気づけるようになった」と実感を語っています。

現在の活用方法

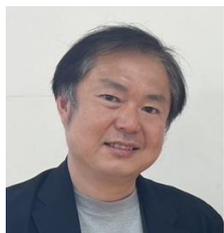
試合映像の分析、スカウティング、そしてコーチング

現在、米沢鶴城高校ホッケー部では、主に以下の3つの場面でFL-UXを活用しています。

1. 試合映像の分析: 試合後、FL-UXを使って試合映像を分析し、チームの課題や改善点を見つける。
2. スカウティング: 対戦相手の試合映像をFL-UXに取り込み、相手の戦略やキープレイヤーを分析。
3. コーチング: FL-UXを使って作成した分析結果を選手たちに共有し、コーチングに役立てる。



FL-UX(フラックス)の画面イメージ



FL-UX(フラックス)プロジェクトメンバー

富士通Japan株式会社
奥山氏



RUN.EDGE株式会社
松村氏

チームの強み

結束力と、地域からの温かいサポート

米沢鶴城高校ホッケー部の強みは、何と言ってもチームの結束力です。

「部員同士が互いに支え合い、高め合う、そんな温かいチームです。また、地域の方々からの温かいサポートも、私たちの大きな力になっています。」と小池先生は語ります。

部活動と学業の両立：文武両道を目指して

米沢鶴城高校ホッケー部では、部活動だけでなく学業にも力を入れています。テスト前は部活動を休止し、学業を優先する体制を整えています。

今後の展望

リアルタイム配信の実現と、全国の舞台へ

今後の目標について、小池先生は語ります。

「まずは、FL-UXのリアルタイム配信機能を活用し、遠征先でもリアルタイムで試合映像を共有できるようにしたいです。そして、FL-UXを最大限に活用し、東北大会優勝、そして全国大会ベスト4以上という目標を達成したいです」

ホッケーを通して人間的な成長を

小池先生は、「ホッケーを通して、人間的な成長を遂げてほしい。」と願っています。

「感謝の気持ちを持ち、周りの人々を大切にする心を育み、将来に繋がるような経験を積んでほしいと考えています。」

米沢鶴城高校ホッケー部は、FL-UXを有効活用し、更なる高みを目指します。彼らの挑戦から、目が離せません。



米沢鶴城高等学校 ホッケー部のメンバー

■ お客様情報

名称 **山形県立米沢鶴城高等学校**

URL <https://yonezawa-kakujo.ed.jp/>

所在地 山形県米沢市大字川井300番地

* FL-UX (フラックス) スポーツ映像・コミュニケーションアプリ <https://fl-ux.run-edge.com/>

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー 〒212-0014

<https://www.fujitsu.com/jp/fjj/>

お客様総合センター 0120-835-554

ご利用時間：9時～17時30分（土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く）

(注) 本コンテンツに記載されている「FL-UX」は、RUN.EDGE株式会社の登録商標です。
(注) 記載されているお役職などの情報につきましては、2025年3月現在のものです。
(注) 製品の仕様、サービスの内容などは予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
(注) 記載されている製品・サービス名、会社名及びロゴは、各社の商標または登録商標です。